

令和6年度 幼稚園関係者評価の結果について

今年度の園評価の内容について、本園学校評議員の皆様にご評価いただき、幅広い観点からご意見をいただきましたのでお知らせいたします。

いただきました貴重なご意見を、今後の幼稚園運営に生かしてまいります。

〔主なご意見〕

- NO.8「教育目標や方針をわかりやすく伝えているか」NO.9「保育の様子や子どもの姿をわかりやすく伝えているか」については、園だよりやクラスだよりで月々の教育内容や活動がわかりやすく伝えられている。
- NO.15「少人数保育の課題や留意点を捉え、積極的に取り組んでいるか」について、一般的に少人数での指導は、メリットだらけのように言われている中で、この項目を評価に設定したことは大変良いと思う。少人数は、教師の話が特に子ども達に入りやすいので、「指示」にならないような「言葉掛け」を職員間で共有することは大きなことであるが、大変な苦勞であったことと思われる。
- 運動会や発表会では、子ども達は仲良く楽しそうに取り組んでいた。年長、年少を区別するような活動はないものの、年長児を感じる動きが見え隠れしているのが良かった。保育参観した様子からも、合同で過ごす中で、それぞれの年齢が違和感なく発達、成長していることが感じられた。
- 保護者からの記述で、「毎日幼稚園に行くことをとても楽しみにしている」「先生方が園児だけでなく保護者にも寄り添ってくれる」とあり、送迎する保護者にとってはどれだけ安心と喜びがあることだろうと思う。
- NO.15「少人数保育の課題や留意点を捉え、積極的に取り組んでいるか」についての職員の記述に、「少人数である点を生かし、個々の言葉に耳を傾け、考えや思いを汲み取り、個々に応じた援助ができた。」「大きな行事では、職員も子どもも皆でアイデアを出し取り組むことで、工夫して新しい形で経験することができていた。」「保育園交流では、少人数では経験できないことができ、高校生に遊んでもらったりご飯を食べたりする中では交流する楽しさや喜びを味わえた。」とあった。地域交流は、子ども達にとって刺激もあり、自分からかかわっていこうとする意欲や日常の挨拶など社会性が身につく。引き続き大事にしていってほしい。
- どの項目においてもC・Dの評価が0人という結果は、日頃から先生方がしっかり接してくれているからであると思われる。
- 草ぶえの丘を利用した餅つきや遠足でコミュニティバスを利用するなど、行事を少人数ならではの内容に改革して、大変良い経験がたくさんできている。箸の扱いについては、保護者意見の中でも上がっているところだが、一案として、家庭教育学級と合同でテーブルマナー講座を開催するなどの方法にすると保護者も一緒に学べるのでどうか。

- ・少人数で大きな行事をどのように実施するのだろうかと思っていたが、運動会では広い園庭で伸び伸びと走り回り、競争意識も高まり、喜んだり悔しい気持ちを経験したりできていた。また、なかよし発表会では、一人一人が自信を持ち演じる姿を見ることができて、見ている側も楽しかった。